南が丘中学校学校通信

輝き

第２１号
令和３年３月１日
TEL 059-229-2831

有終の美を飾ろう

３年生の各教室には、この時期、卒業までの日数を書いたカウントダウンの日めくりが掲示されます。１月から始まった日めくりも、残りわずかとなりました。３年生にとって南が丘中学校で友達とともに過ごす日は、今日と卒業式当日を含め、あと６日となります。新型コロナウイルス感染症への対応により、当初３月８日（月）に予定をしていた卒業式が、１２日（金）に変更となりました。今年も卒業生、保護者の皆さま、学校職員のみによる式となります。在校生や地域の皆さんとともに卒業をお祝いすることができず、たいへん残念に思っています。在校生は式に立ち会うことはできませんが、中学校生活の節目として、送る側も、送られる側も、「ありがとう」という感謝の思いをもってその日を迎えてほしいと思います。

そして、新しい年度に向け、卒業生だけでなく、全校生徒一人一人が「有終の美」を飾れるよう、一日一日を大切に送ってほしいと思います。

ちょっといい話…ことばの力

世の中には、名前を変えただけで状況が一変するということがあります。

今、皆さんが使っている（買っている）商品にも、名前を変えて大ヒット、ロングセラーとなっているものがあります。例えば「おーいお茶」発売当初は「缶入り煎茶」でしたが、改名により売り上げが６倍近くに急増したそうです。他にも、「鼻セレブ」、発売当初は「ネピア モイスチャーティシュ」という名前で、こちらも改名により売り上げが１０倍以上に跳ね上がったそうです。また、缶入りコーヒーの「ＢＯＳＳ」は「ＷＥＳＴ」からの改名により、大ヒットとなりロングセラーとなっています。

そしてもう一つ、こちらも「言葉」にまつわるある詩人のエピソードです。

まもなく春を迎えようとする、ある晴れた日、ＮＹの公園で浮浪者と出会った。
その浮浪者は、首に「 I am blind 」と書いたものを掛けて物乞いをしていた。
そうか。彼は目が見えないのか、、、
しかし通行人は素通りだ。誰一人として彼にお金をあげる者はいない。
芝生に座っていた男は立ち上がり、その浮浪者に近づいた。
男は少しばかりのお金を浮浪者に恵み、その間に気づかれないように、浮浪者が首から掛けていた「 I am blind 」という文字を書き換え、そして別れた。
それから １時間が過ぎる頃、その浮浪者は異変に気づいた。
おかしい、、、おかしい、、、あの男に恵んでもらってからの１時間。
それまでは誰一人お金を恵んでくれる人がいなかったのに、あの男に出会ってから、今はすれ違う人、すれ違う人が恵んでくれるようになった。
物乞いのお椀にはコインが溢れ、人々が同情の声までかけるようになった。
あの男の運なのか？あの男は魔法使いなのか？
実は、男は「I am blind 」という言葉をこう書き換えていたのだ。
「 Spring’s coming soon. But I can’t see it 」

「あの男」は実在します。名前はアンドレ・ブルトン。フランスの詩人です。

ふだん何気なく使っている言葉が、人と人をつないだり、反対に関係を壊してしまったりします。「言葉」はマジック。ぜひ、人と人をつなぐ言葉、元気や勇気を与える言葉を使いたいものです。

誰一人取り残さない

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

前号で紹介したＳＤＧｓについて、今回は、１７の大きな目標の中身を見てみます。まずは、１～６について。この６つの目標を見ていると、貧困や飢餓、健康や教育、さらには安全な水など開発途上国に対する支援のように見えます。しかし実際には、日本の子どもの６～７人に１人が貧困だと言われています。ジェンダー平等に関しても、前東京五輪組織委員長が失言により辞任するなど、昨年12月の世界経済フォーラムで発表された数字によると、日本は153カ国のうち121位と、とても低い数字になっています。ＳＤＧｓの目標は先進国である日本にも当てはまるものなのです。合言葉は「誰一人取り残さない」です。

1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

4. 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

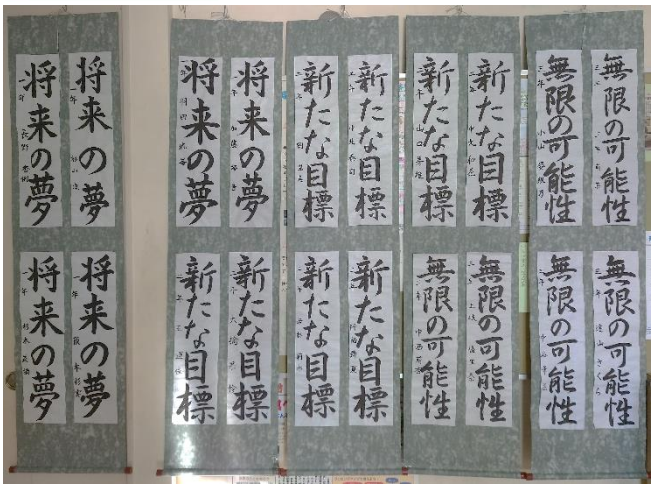
5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

活躍の足跡

- ✧ 斎藤拙堂顕彰中学生書道展　特選：２年 中北さん
- ✧ 新聞切り抜き作品コンクール　入選：２年 西田さん、３年 横市さん　佳作：２年 大橋さん、杉山さん、３年 中川さん、中谷さん　努力賞：２年 菅野さん、宮村さん、３年 田辺さん
- ✧ 子どもと先生の新聞コンクール学習新聞の部　努力賞：３年１組、２組、３組
- ✧ 中部日本個人・重奏コンテスト三重県大会　重奏の部一次審査　銅賞：２年 田邊さん、鈴木さん、出口さん、宮本さん、西山さん　銀賞：２年 米山さん、藤谷さん、上中さん、横山さん、安藤さん、神谷さん
- ✧ 三重県映画感想文コンクール　優秀賞：２年 亀井さん、菅野さん
- ✧ 津市人権ポスター　入選：２年 森尾さん



前号で紹介した津市中地区書写展への出品作品です。書写展は中止となってしまいましたが、伸びやかな文字を昇降口に展示しています。

毎日のお知らせや、子どもたちの学校での様子をホームページに掲載していますのでご覧ください。
c-minamigaoka　で検索するとトップページへのリンクが表示されます。